屋内用電動昇降機

ＵＤ－４２０

取　扱　説　明　書

この度は弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの「取扱説明書」を必ずお読みください。
尚、この「取扱説明書」には保証書が付いております。

取扱説明書の内容、及び保証書の内容がいつでも確認できるよう、大切に保管してください。

－　目次　－

［１］まえがき　････　２
［２］表示記号のご説明　････　２
［３］屋内用電動昇降機
　　ＵＤ－４２０について
　<3．1>使用目的　････　３
　<3．2>特長　････　３
　<3．3>各部の名称　････　３
［４］ご使用になる前に
　<4．1>ご使用上の注意　････　４
　<4．2>電源部接続について　････　５
　<4．3>使用前点検　････　６
［５］使用方法
　<5．1>上昇するとき　････　８
　<5．2>下降するとき　････　９
［６］非常スイッチ　････１０
［７］設置位置の設定　････１１
［８］上昇位置の設定　････１２
［９］日常のお手入れ
　<9．1>お手入れ方法　････１３
　<9．2>定期点検　････１４
　<9．3>消耗品・交換品　････１５
［10］トラブルシューティング
　（異常な場合の処理）　････１６
［11］ご使用期間と
　アフターサービスについて　････１７
［12］仕様　････１８
　保証書　････１９

株式会社いうら

■本社・松山営業所
〒791-0214　愛媛県東温市南野田 410 番地 6　TEL089(964)7770・FAX089(964)1522
■仙台営業所
〒984-0031　宮城県仙台市若林区六丁目柳堀 8-1　TEL022(390)4605・FAX022(288)3690
■東京営業所
〒173-0014　東京都板橋区大山東町 10-6　TEL03(5248)2541・FAX03(5248)2542
■名古屋営業所
〒485-0012　愛知県小牧市小牧原新田 1660-3-D　TEL0568(42)6015・FAX0568(71)9656
■大阪営業所
〒567-0072　大阪府茨木市郡 5 丁目 31-54　TEL072(641)8711・FAX072(641)8712
■福岡営業所
〒839-0814　福岡県久留米市山川追分１丁目 4-4　TEL0942(45)3808・FAX0942(45)3809
■北海道エリア特約店
〒064-0919　北海道札幌市中央区南十九条西６丁目３番５号　TEL011(531)1315・FAX011(531)1346
エア･ウォーター・ハローサポート株式会社

UD42-98-200-1i

［１］まえがき

この取扱説明書は、屋内用電動昇降機ＵＤ－４２０をご使用いただくためのガイドブックです。本機を初めてお使いいただく方はもちろん、すでにご使用になられた経験をお持ちの方にも、知識や経験を再確認するうえでお役に立つものと考えております。

この取扱説明書をよくお読みになり、内容を十分に理解された上で、実際にご使用くださいますようお願い致します。

また、本機の設計内容に関する不断の研究改良の結果、この取扱説明書の内容の中に、お買い上げの製品と詳細において異なる場合があります。お買い上げの製品またはこの取扱説明書の内容につきましてご質問がございましたら、ご購入先あるいは弊社までご遠慮なくお問い合わせください。

安全に関する注意

本機を安全にご使用いただくには、正しい操作と定期的な保守が必要です。

また、この取扱説明書に示されている使用方法及び安全に関する注意事項は、本機を指定の使用目的に使用する場合のみに関するものです。この取扱説明書に記載されていない使用方法は、絶対に行わないでください。

［２］表示記号のご説明

本体及び本紙に表示されている記号及び言葉は下記の意味があります。
十分にご理解のうえ、安全にご使用ください。

⚠：注意することを表しています。
⃠：禁止事項を表しています。
❗：お客様への要請事項を表しています。
⚠警告：お取扱いを誤った場合、重大事故につながる可能性があります。
⚠注意：お取扱いを誤った場合、ケガをする可能性及び本体の故障につながる可能性があります。
注意：本機の故障を防止するための注意事項や、本機をより快適にご使用いただくためのアドバイス等です。

なお、本体に貼付されているシール類、及び本書の紛失あるいは損傷等がありましたら、ご遠慮なくご購入先あるいは弊社までお申し付けください。

［３］屋内用電動昇降機ＵＤ－４２０について

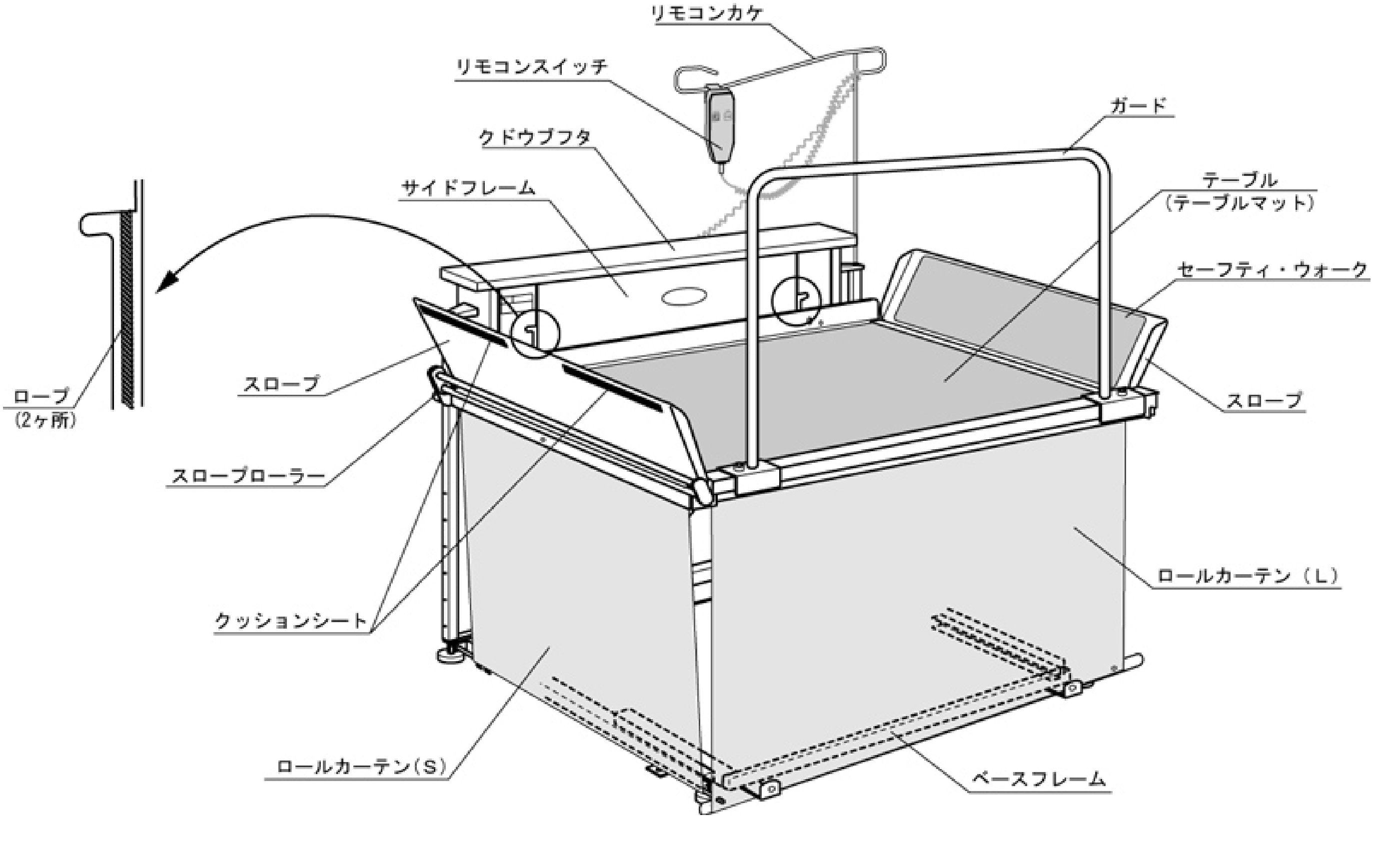
〈３．１〉使用目的

屋内専用の車椅子用電動昇降機です。玄関の上がりかまちの段差を解消させ、車椅子利用者の方の外出を手軽にするものです。

〈３．２〉特長

- 車椅子の方も介護者なしで簡単に使用できます。
- コンパクトなサイズで玄関などの狭いスペースにも設置できます。
- 分解・組立がお一人で簡単に行えます。
- 上昇高さは、設定位置により自動的に停止します。
- 平坦でしっかりとした場所なら、設置のための特別な工事の必要はありません。
- 組み立て方により、サイドフレームの位置が左右異なる左仕様・右仕様ができます。

〈３．３〉各部の名称



- オプションとして、増設用のリモコンスイッチ（呼び出しスイッチ）をご用意しています。複数の方が使われる場合、本機から離れた場所から操作できます。リモコンスイッチの有効長は２ｍです。

［４］ご使用になる前に

〈４．１〉ご使用上の注意

必ず、下記の安全上の注意事項を十分に把握してから、各操作方法に従って操作してください。
事故防止のため、必ず下記の注意事項をお守りください。

安全上の注意

⚠警告

- ⚠ 本体に貼り付けてあるシールの内容は安全上、及び本機を正しくご使用いただくために、非常に重要ですので必ずお守りください。
- ⚠ 本機の改造は、思わぬ事故につながる恐れがあります。改造の必要な場合にはご購入先あるいは弊社までご連絡ください。
- ⃠ 本機の耐荷重は１２０㎏です。車椅子などを含めて１２０㎏を超える場合は、ご使用にならないでください。
- ⃠ 本機は１人用として設計しています。お子様といえども、必ず１名でご使用ください。
- ❗ 本機の設置は、組立説明書及び本書に基づいて行ってください。
- ⃠ 本機の昇降範囲を超える段差には、ご使用にならないでください。
- ⃠ テーブルの下に物などを置かないでください。また、お子様が入り込まないように気をつけてください。
- ⃠ テーブルの上で跳んだり、はねたりしないでください。
- ❗ 電源は家庭用１００Ｖ専用です。他の電源には絶対に接続しないでください。故障、火災の恐れがあります。
- ⃠ 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
- ❗ 万一の感電事故を防ぐため、電源から出ているアース端子をアースに接続してください。また、電源コードを差し込むコンセントは、必ず漏電ブレーカーを経由したコンセントとしてください。
- ❗ 本機を使用されるときは、周囲の安全を確認してから操作してください。
- ❗ 車椅子が完全にテーブルに乗った状態でブレーキをかけ、昇降操作をしてください。
- ⚠ 昇降時には、体（特に足先や手）がテーブルから出ないようにしてください。また、常に体や車椅子の状態に注意し、昇降動作によるはさみ込みや干渉が起こらないようにしてください。
- ⚠ 本機へ乗り込むとき、本機から降りるときも常に体（特に足先や手）に注意し、ぶつけたり、はさみ込んだりしないようにしてください。
- ❗ ロープに切れ目やほつれが発生したり、細く変形した場合はただちに使用を止め、速やかに交換してください。切れ目やほつれが発生したり、細く変形したまま使用を続けると落下やケガの原因となります。

⚠注意

⚠ 本機は、防水構造ではありません。雨などのかかる場所または地面の緩む恐れのある場所には設置しないでください。

❗ 本機を移動させるときは、テーブルやロールカーテン、スロープ、クドウブフタ、ガードは持たず、サイドフレーム内のパイプやベースフレームを持ってください。

⊘ コード類を傷つけないようにしてください。また、コードの上に重いものを置かないでください。電源コードを差し込むときまたは抜くときは電源プラグを持って行ってください。

⊘ 非常時のみ、非常スイッチをご使用ください。通常は使用しないでください。

注意

⚠ 本機は組立式です。各部分の運搬・開梱包・組立・分解を行う際には、落としたり倒したりしないよう気を付けてください。

⊘ リモコンスイッチを乱暴に扱わないでください。乱暴に扱うと故障の原因になります。

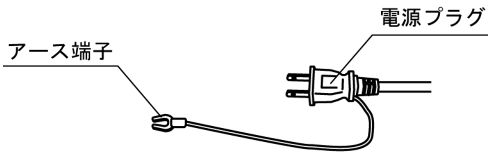
❗ 本機は電源スイッチを『ｏｆｆ』にしていても、約１．２Ｗの電力を消費します。長時間ご使用にならない場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。

・ アース工事は最寄りの電気工事業者または電気店にご依頼ください。
・ 漏電ブレーカーはご用意できます。ご購入先あるいは弊社までお申し付けください。

〈４．２〉電源部接続について

・電源プラグをコンセントに差し込みます。

⚠警告	⊘ 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。 ❗ 万一の感電事故を防ぐため、電源プラグから出ているアース端子を必ずアースに接続してください。また、電源プラグを差し込むコンセントは、必ず漏電ブレーカーを経由したコンセントとしてください。



注意	・アース工事は最寄りの電気工事業者または電気店にご依頼ください。 ・漏電ブレーカーはご用意できます。ご購入先あるいは弊社までお申し付けください。

〈４．３〉使用前点検

・ご使用になる前には、必ず点検してください。

・使用前点検の点検項目を、すべてクリアした場合に限りご使用ください。

・ひとつでもクリアできないときは、使用せずに、ご購入先あるいは弊社までご連絡ください。

点検項目		処理方法
本機の周り・テーブルの下に障害物はないですか。 （あるとき→NO）	→ NO	障害物を取り除いてください。
↓OK		
本機はガタガタしませんか。 （ガタガタするとき→NO）	→ NO	ゴム脚の調節をしてください。 （１２ページ）
↓OK		
電源プラグをコンセントに差し込んでいますか。 また、アースを取っていますか。 （差し込んでいないとき、取っていないとき→NO）	→ NO	電源プラグにコンセントを差し込んでください。また、アースを取ってください。 （５ページ）
↓OK		
段差側のスロープが４０mm以上段差にかかりますか。また、段差側のスロープを立てたとき、段差との隙間が２０mm以上ありますか。 （かからないとき→NO）	→ NO	設置位置の調整（１１・１３ページ）を参考に調整してください
↓OK		
壁際に設置する際にクドウブフタと壁面との隙間が３０mm以上ありますか。 （隙間が確保できていない時→NO）	→ NO	設置位置の調整（１１ページ）を参考に調整してください。
↓OK		
各コードに傷はありませんか。 （あるとき→NO）	→ NO	ご購入先あるいは弊社まで ご連絡ください。
↓OK		
上昇位置で自動的に止まりますか。 （止まらないとき→NO）	→ NO	上昇位置の調整（１２・１３ページ）を参考に調整してください。
↓OK		
下降位置で自動的に止まりますか。 （止まらないとき→NO）	→ NO	ご購入先あるいは弊社まで ご連絡ください。
↓OK		
昇降時に気になる音はしませんか。 （気になる音がするとき→NO）	→ NO	ご購入先あるいは弊社まで ご連絡ください。
↓OK		
ロールカーテンに破れやほつれはありませんか。 （あるとき→NO）	→ NO	障害物が入り込む恐れがあります。 ご購入先あるいは弊社まで ご連絡ください。
↓OK		
使用前点検　ＯＫ！		

注　意
上記の使用前点検に記載されていること以外でも、おかしいなとか、今までと違うような気がした場合には絶対に使用せず、ご購入先あるいは弊社までご連絡ください。お客様の判断で本取扱説明書に記載されていない内容の処理をされた場合には、弊社では責任を負いかねます。

［５］使用方法

⚠注意	・ 車椅子の４輪がすべてスロープ内を通るように気を付けてゆっくり乗り降りしてください。また、昇降中は車椅子のブレーキをかけていないと不安定になり、とても危険です。必ずブレーキをかけてください。 ・ お子様のいたずらや誤作動を防止するため、使用時以外は電源スイッチを『ｏｆｆ』にしてください。

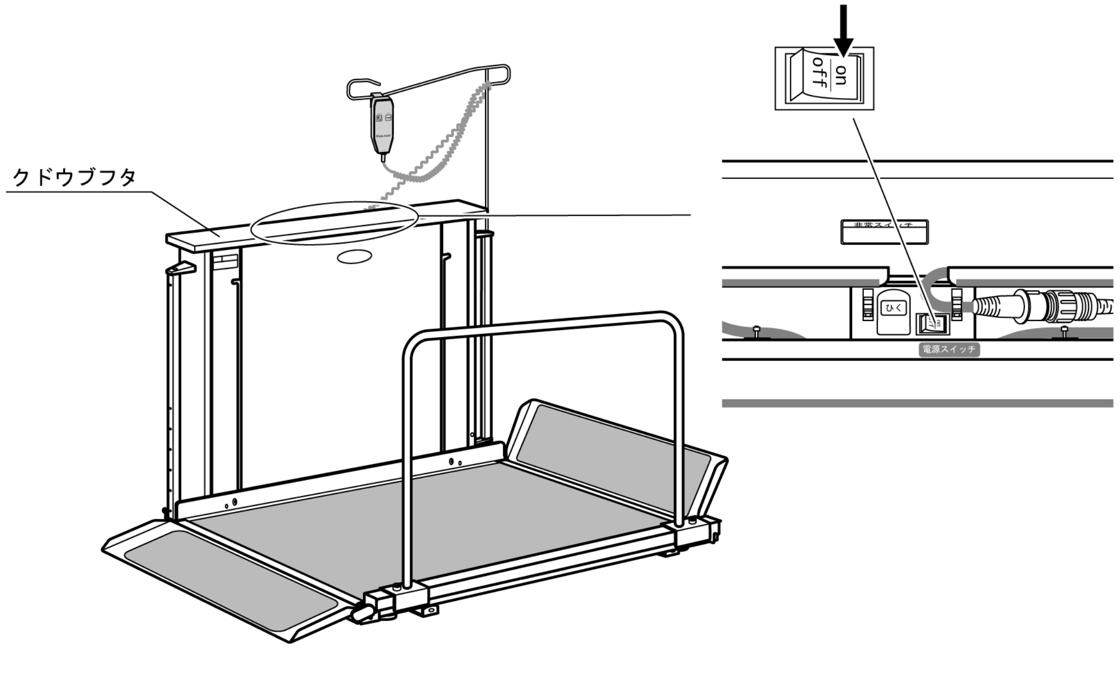
⚠警告	テーブル最低位に近づくと徐々に玄関側のスロープが下がります。完全に止まるまで車椅子のブレーキをかけたまま､待ってください。

〈５．１〉上昇するとき

① テーブルが最低位になっていれば玄関側のスロープは下がっていますので、そのまま乗り込みます。テーブルの奥まで乗り込み、車椅子のブレーキをかけます。

⚠警告	⃠ 段差側のスロープより足や車椅子のステップが出ないようにしてください。また、足やステップで段差側のスロープを押さないようにしてください。段差とのはさみ込みの原因となります。

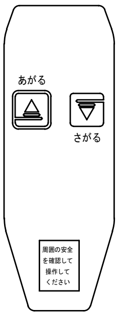
② 電源スイッチを『ｏｎ』の状態にします。

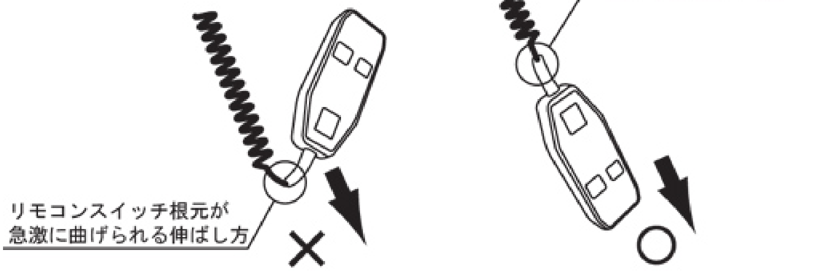


③ リモコンスイッチの『あがる』のボタンを押して上昇します。（玄関側のスロープは上昇時に自動的に上がります。）

リモコンスイッチの操作方法

上昇したいときはリモコンスイッチの『あがる』のボタンを、下降したいときは『さがる』のボタンを押します。
ボタンを押しているときのみ上昇または下降し、手を離すとその位置で止まります。ボタンを押し続けているとあらかじめ設定した上昇位置で自動的に止まります。



⚠注意	⃠リモコンスイッチのカールコードは無理な折り曲げや引張り、挟み込みがないよう注意してください。特にカールコードを伸ばす場合、リモコンスイッチ根元部の急激な折り曲げはしないでください。 故障の原因となります。 ＜カールコードの伸ばし方＞ 

④ テーブルが設定した高さにくると自動的に停止します。停止したら、リモコンスイッチをリモコンカケに掛けてください。
⑤ 電源スイッチを『ｏｆｆ』の状態にします。
⑥ 車椅子のブレーキを解除し、本機から降ります。

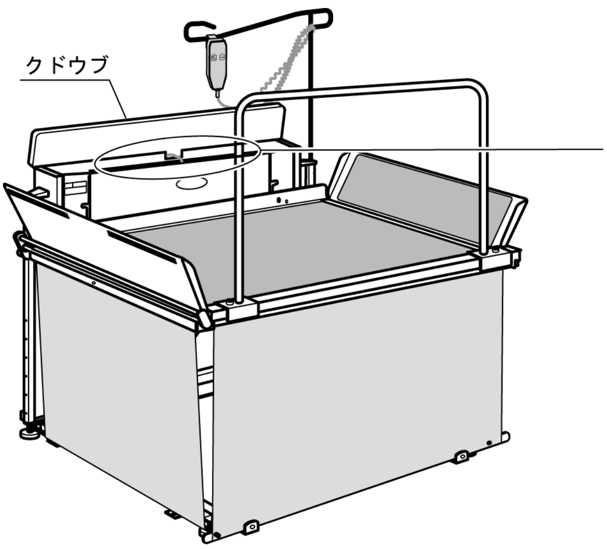
〈５．２〉下降するとき
① テーブルの奥まで乗り込み、車椅子のブレーキをかけます。玄関側のスロープに車椅子のステップもしくは、ステップ上の足が触れる位置を目安としてください。
② 電源スイッチを『ｏｎ』の状態にします。
③ リモコンスイッチの『さがる』のボタンを押して下降します。（段差側のスロープは下降時に自動的に上がります。）
④ テーブルが最低位にくると自動的に停止します。停止したら、リモコンスイッチをリモコンカケに掛けてください。
⑤ 電源スイッチを『ｏｆｆ』の状態にします。
⑥ 車椅子のブレーキを解除し、本機から降ります。

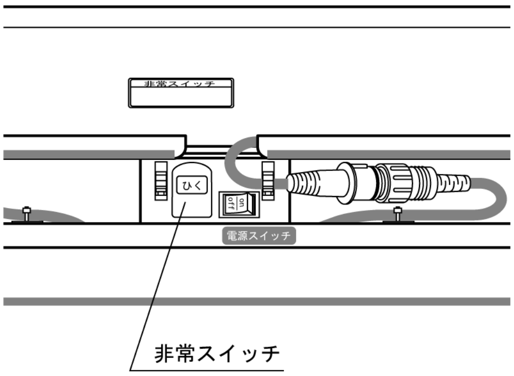
［６］非常スイッチ

本機には、停電やスイッチ・回路の故障などにより、装置が動かなくなった場合の緊急処理方法として、『非常スイッチ』を備えています。
また、非常スイッチは下降のみです。上昇することはできません。

《操作方法》

クドウブフタを開け、非常スイッチのレバーを断続的に上に引き、スピードを調整しながらゆっくり下降させます。





⚠警告	・ 非常スイッチを引いている間は自重で下降します。引いたままにするとスピードがつきすぎて危険です。断続的に引いてスピードを調整し、ゆっくり下降させてください。 ・ スピードがついたままで下限まで下降させると、内部の駆動部が破損する原因にもなりますので、下限近くでは特に注意して、さらにゆっくり下降させてください。 ・ スピードがついたまま下限まで下降させてしまった場合は内部の点検が必要となります。点検の結果により修理が必要となる場合がありますので必ず、ご購入先あるいは弊社各営業所までご連絡ください。点検を受けずに故障した場合は保証の対象外になる可能性があります。

⃠禁止	停電や故障などの非常時以外は絶対にご使用にならないでください。 故障の原因となります。

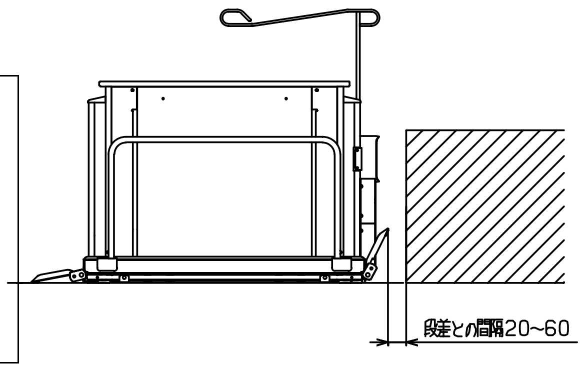
［７］設置位置の調整

・ 本機は完成状態では非常に重く、お一人での移動は困難です。なるべく大勢で十分注意しながら移動させてください。

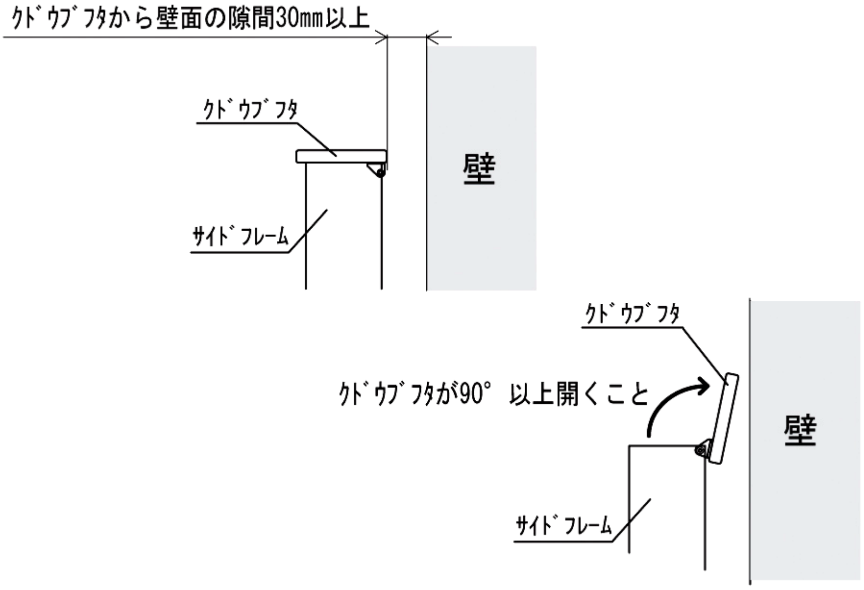
⚠注意	⃠ テーブルやロールカーテン、スロープ、クドウブフタ、ガードは持たないでください。 ❶ 必ずサイドフレーム内のパイプやベースフレームを持ってください。

１.段差との隙間を２０～６０㎜とってください。

⚠警告	スロープが完全に段差にかかる距離にあるか確認してください。 スロープを立てているときは段差との隙間が２０㎜以上あるか確認してください。隙間が狭いと、はさみ込みや干渉の原因となります。



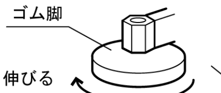
２.壁際に設置する際はクドウブフタと壁面からの隙間を３０㎜以上あけるようにしてください。

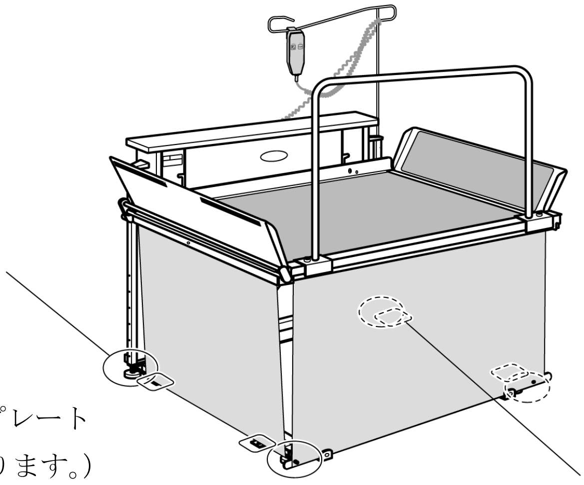


⚠警告	設置時にクドウブフタから壁面までの隙間が３０㎜以上あるか確認し、クドウブフタを開けた時に非常レバー操作ができるか確認してください。 クドウブフタの開閉が自由に出来ないと、とっさ時の非常レバー操作が出来ない恐れがあります。

３．設置後、本体にガタがある場合には、浮いている部分のゴム脚を伸ばし、しっかり接地させてください。

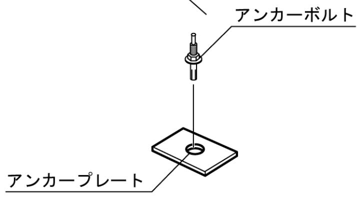
※ゴム脚の調節範囲は５ｍｍです。





アンカー止めを行う場合

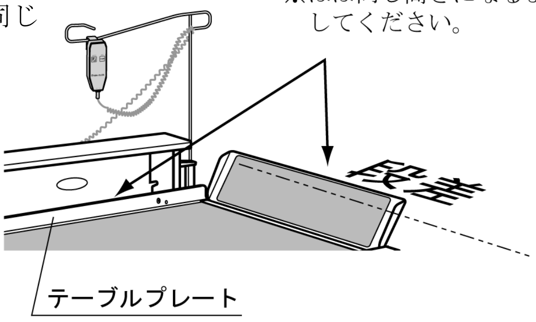
・本機を固定する際にはアンカープレートをご利用ください。（４ヵ所あります。）
・本機を上昇させ、ロールカーテンを上げた状態で２ヵ所以上固定してください。
・アンカーボルトの規格：Ｍ８



［８］上昇位置の設定

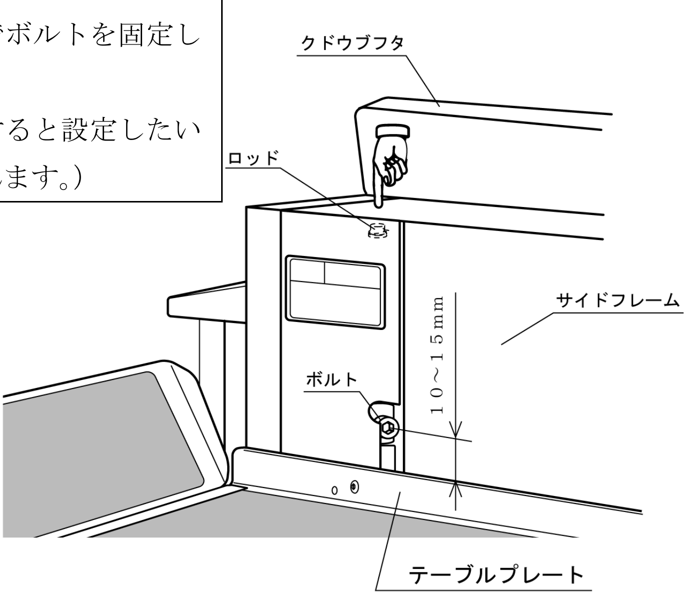
・　サイドフレームのボルトの位置を調節し、上昇位置を設定します。

１．テーブルプレートの上面が段差とほぼ同じ高さになるように昇降させてください。

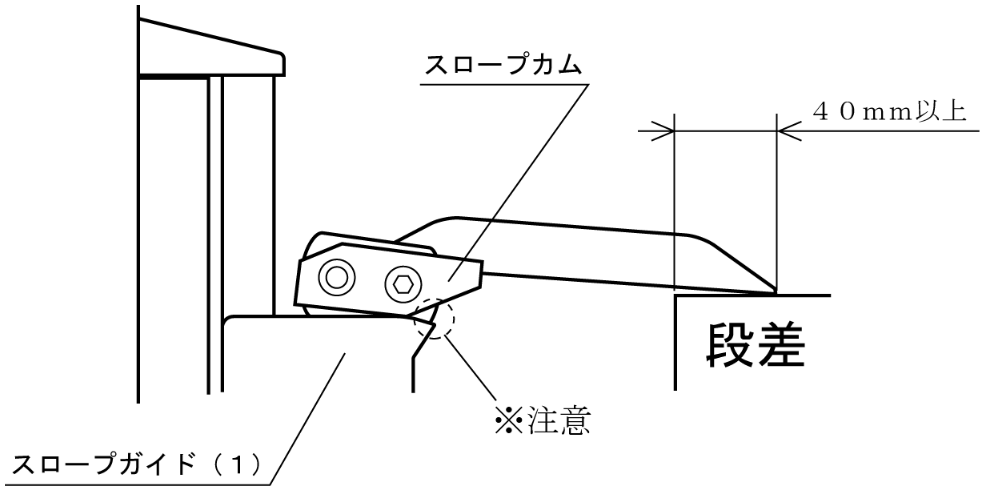


２．サイドフレームのボルトをテーブルプレートの上面より１０～１５ｍｍ高い位置で固定してください。【六角レンチ(対辺 5)】

注意	このとき、クドウブフタを開け、ロッドが浮かないように押さえつけた状態でボルトを固定してください。 （ロッドが浮いた状態で固定すると設定したい位置より低い位置に設定されます。）



３．設定後は数回昇降させて、適当な位置で停止するか、異常がないか確認してください。上昇位置で、スロープガイド（１）とスロープカムが接触していないか確認してください。接触しているときは、２で固定したボルトを少し上げた位置で固定するか、またはスロープガイド（１）の取り付け位置を少し下げてください。



⚠警告	段差側のスロープを倒したときは段差との重なりが４０㎜以上あるか確認してください。重なりが少ないと転倒、落下の原因となります。

［９］日常のお手入れ

〈９．１〉お手入れ方法

本体が汚れたときには、水で薄めた中性洗剤に浸した布を堅く絞って汚れを拭き取ってください。その後、乾いた布で乾拭きしてください。

⚠注意
❶ お手入れをするときは、電源プラグを抜いてください。
⊘ 濡れた手で電源プラグを抜かないでください。
⊘ お手入れの際はアルカリ性・酸性の薬品、溶剤類、オゾン、酸化エチレン等、本機を劣化させてしまう恐れのあるものは使用しないでください。

〈９．２〉定期点検

本機を正しく安全にご使用いただくために以下の点検を１年に１度点検されることをお勧めいたします。

点検項目		処理方法
段差側のスロープが４０ｍｍ以上段差にかかりますか。また、段差側のスロープを立てたとき、段差との隙間が２０ｍｍ以上ありますか。　（かからないとき→NO）	→ NO	設置位置をずらしてください。（１１・１３ページ）
↓OK		
壁際に設置する際にクドウブフタと壁面との隙間が３０㎜以上ありますか。（隙間が確保できないとき→NO）	→ NO	設置位置をずらしてください。（１１ページ）
↓OK		
コードに傷はありませんか。（あるとき→NO）	→ NO	どのコードに傷があるかをご購入先あるいは弊社までご連絡ください。
↓OK		
ロープに異常はありませんか。（ほつれ・切れ目・細く変形）（あるとき→NO）	→ NO	交換が必要です。ただちに使用を止め、ご購入先あるいは弊社各営業所までご連絡ください。
↓OK		
上昇または下降中にモーター音以外の音はしませんか。（あるとき→NO）	→ NO	ご購入先あるいは弊社までご連絡ください。
↓OK		
テーブルが傾いていませんか。（傾いているとき→NO）	→ NO	ご購入先あるいは弊社までご連絡ください。
↓OK		
ロールカーテンに破れやほつれはありませんか。（あるとき→NO）	→ NO	交換が必要です。ご購入先あるいは弊社までご連絡ください。
↓OK		
定期点検　ＯＫ！		

注意	上記のこと以外で、気になる点があるときはご使用を控え、ご購入先あるいは弊社までご連絡ください。

〈９．３〉消耗品・交換品

・ 日常のお手入れ及び日常点検をされたときには、下記の部品が交換時期になっていないかをご確認ください。
・ 交換時期に該当する部品がある場合には、ご購入先あるいは弊社各営業所までご連絡のうえ、お早めに交換をしてください。

品　名	交　換　時　期
ロープ	≪⚠警告≫ ロープに切れ目やほつれが発生したり、細く変形した場合はただちに使用を止め、速やかに交換をしてください。落下・転倒の恐れがあります。また、毛羽立ちが激しい場合についても交換をしてください。
ロールカーテン(Ｓ)・(Ｌ)	≪⚠注意≫ ロールカーテン(Ｓ)・(Ｌ)にほつれや破れが発生した場合は速やかに交換をしてください。テーブル下面への異物の進入や挟み込みにより本機の故障・ケガの原因となります。
ロールスプリング ※本体内部部品	≪⚠注意≫ ロールカーテン(Ｓ)・(Ｌ)が巻き取れない等の異常がある場合は交換をしてください。テーブル下面への異物の進入や挟み込みにより本機の故障・ケガの原因となります。
スロープローラー スロープカム	≪⚠注意≫ シュウドウローラーが摩耗・劣化してきた場合は昇降時にスロープを安全な高さで保持できなくなりますので交換をしてください。転落やケガの原因となります。
テーブルマット	・汚れがひどく、洗っても落ちないとき。 ・表面の凸凹がなくなったとき。また、劣化してきたとき。
セーフティー・ウォーク	・接着面がはがれてきたとき。 ・表面の凸凹がなくなったとき。また、劣化してきたとき。
ローラー ※本体内部部品	劣化・破損・摩耗したとき。
クッションシート	劣化・破損したとき。
ゴム脚	劣化・破損したとき。
リモコンスイッチ	昇降操作が出来なくなったとき。

注意	交換時期を過ぎても使用していると、快適な介護ができないだけでなく、思わぬ事故につながる恐れがあります。交換時期に該当する部品がある場合には、お早めに交換をしてください。

［１０］トラブルシューティング（異常な場合の処理）

・下記以外のトラブル（異常）・原因の場合、また、下記の処置では解決しなかった場合には、ご購入先あるいは弊社までご連絡ください。トラブル解決までは、絶対に使用しないでください。

トラブル内容	主な原因	処置
上昇・下降しない。	電源プラグがコンセントに入っていない。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	電源スイッチが『ｏｆｆ』になっている。	電源スイッチを『ｏｎ』にしてください。
	最高位または最低位になっている。	逆のスイッチを押してください。
上昇位置で自動的に止まらない。	上昇位置の設定が不適当。	調整してください。（１２ページ）
段差側のスロープが届かない。	設置位置が不適当。	調整してください。（１３ページ）
本機がガタつく。	設置場所が不安定。	設置場所の変更または、しっかりとした基礎を造ってください。
	ゴム脚の調整が不適当。	調整してください。（１２ページ）
	ローラーの摩耗・劣化・破損	新しいものに交換してください。

［１１］ご使用期間とアフターサービスについて

●ご使用期間について

本機は、標準的な使用環境と使用条件下で、取扱説明書にしたがって正しく使用した場合の標準使用期間※注１を８年と定めています。この期間を超えて使用されますと、機能部品はもとより主要構造材も、経年劣化により破損する恐れが出てきます。使用期間が８年を超えた製品については、弊社同等製品への買い替えをお勧めいたしますが、引き続いての使用をご希望される場合は、必ず弊社各営業所にご連絡のうえオーバーホール※注２注３を受けてから使用してください。
詳細につきましては弊社各営業所までお問い合わせください。

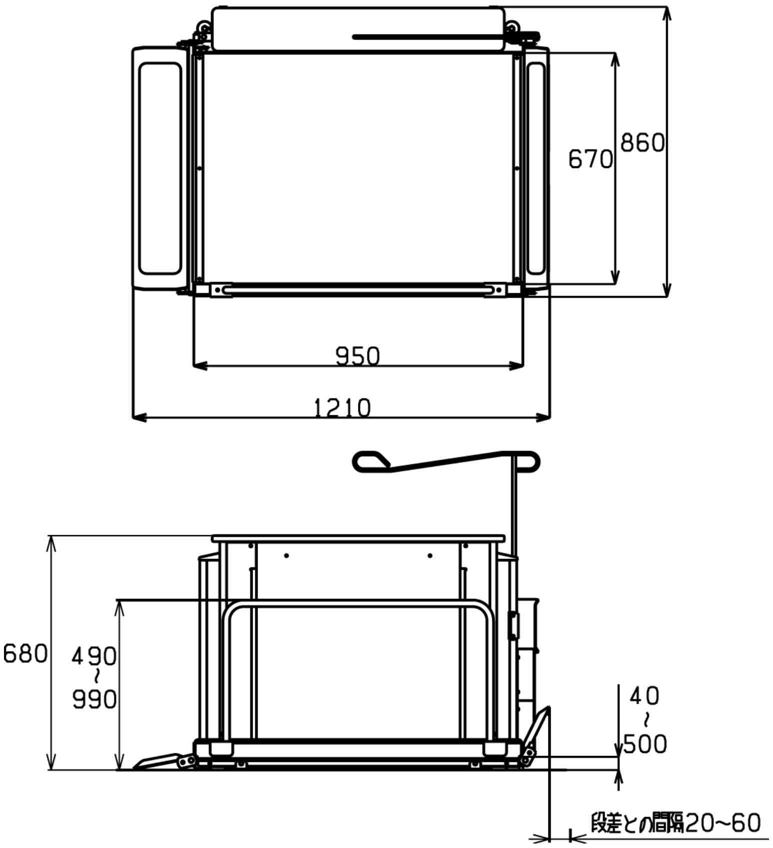
注１：標準使用期間と保証書に記された無償修理の保証期間とは異なるものです。
注２：オーバーホールは、その後の無償修理の保証を約束するものではありません。
注３：お客様の強いご希望で、使用期間終了後オーバーホールを受けずに本機を使用される場合は、本機を使用中に発生した、いかなる不具合ならびに事故に対して、弊社はその責を負いません。

●修理を依頼される時は

修理を依頼される前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、再度ご点検の上、なお異常がある場合、ご購入先または記載の弊社各営業所までご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容
ご住所・ご氏名・電話番号 商品名・型番・製造番号・ご購入先・お買い上げ日 故障、または異常の内容（できる限り詳しくお願いいたします。）

［１２］仕様



本体寸法	全長（最低位のとき）	１２１０ mm
	全幅	８６０ mm
	全高	６８０～９９０ mm
	昇降範囲（テーブル面の高さ）	４０～５００ mm
動力	モーター	インダクションギヤモーター ４０ W
	使用電源	ＡＣ１００Ｖ　５０／６０Ｈｚ
	消費電力	１００ W
総重量		７５ ｋｇ
耐荷重		１２０ ｋｇ
定員		１名
テーブル内寸法　長さ×幅		９５０×６７０ mm
スロープ寸法　長さ×幅		１６０×７０３ mm
スロープ（玄関側）角度		１０°
非常用スイッチ		標準装備
昇降時間		５０Ｈｚ＝３０秒 ６０Ｈｚ＝２５秒